

ふ・い・さ・つ

(一財)鳥取県労福協 第309号

題字 柴山抱海書



## 年頭あいさつ

一般財団法人鳥取県労働者福祉協議会

理事長 本川 博孝

新年あけましておめでとうございます。

ご家族お揃いで新春をお迎えになられたことお慶び申し上げます。

労福協の取り組みに対しまして、ご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。

コロナ禍により、仕事や住まいを失い困窮に陥った人たち、雇用不安を抱えた方々、学費の納入や奨学金返済に苦しむ若者、倒産や経営危機にある中小・小規模事業者など、社会・経済・市民生活は甚大な打撃を受けました。また、「医療崩壊」「相談崩壊」と呼ばれるように「支える現場」も危機的な状況にあります。そのような状況の中、国や県などの様々な施策が導入され一定の成果はあったものの、社会的弱者への公的な支援が届かず、格差の拡大や社会の分断が広がりつつあるなど、社会のセーフティーネットが脆弱であることが浮き彫りになりました。

コロナ禍に対して、引き続き、公的支援の強化を求めていくと共に、労働者自主福祉運動が役割を發揮し、働く仲間や地域の人たちの連帯や互助の輪を広げていくことが重要です。

労働者自主福祉運動が、労働者・生活者の福祉向上に大きな役割を果たしてきましたが、運動領域は年々広がり、様々な事に柔軟に対応することが求められています。

すべての働く人の幸せと豊かさをめざし、連帯・共同で安心・共生の福祉社会の実現に向け、みなさんと一緒に全力で活動していくことをお誓い申し上げ新年のごあいさつとします。



### 第67回鳥取県勤労者美術展を開催

2020年12月13日(日)より20日(日)まで、倉吉博物館にて、勤労者美術展を開催しました。

4部門(写真・洋画・日本画・書道)と「わたしの熱中作品展」のすべての作品148作品を展示しました。



初日は、入賞された方にお越しいただき、表彰式を行いました。

(入賞作品一覧: P 8)



# 新年ご挨拶



日本労働組合総連合会鳥取県連合会  
会長 本川 博孝

新年あけましておめでとうございます。  
ご家族お揃いで新春をお迎えになられたことお慶び申し上げます。

連合鳥取への運動にご理解とご協力いただきておりますことに感謝申し上げますとともに、コロナ禍における皆様方のご奮闘に敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症が続く中、医療・介護・福祉をはじめ公益・物流・交通・生活必需品の供給を担っている皆さん、休業や自肃要請で雇用や生活に深刻な影響を受けながらも頑張っている皆さん、平時と異なる環境下で育児・介護など家庭と仕事の両立に懸命な努力を重ねてこられた皆さん、すべての労働者・生活者、働く仲間一人一人に敬意を表します。

今必要なことは、新型コロナウイルス感染症の収束と、労働者・生活者の視点での経済活性化であり、誰もが安心して働き続けられる環境を取り戻すことです。

この難局を乗り越えるため、労働組合と労働者福祉事業がより連携を強化し、相互扶助の輪を広げ、誰ひとり取り残さない社会に向けて、取り組みを進めていくことが重要となっています。

連合鳥取は労働者・生活者の拠り所として、さらなる運動の強化と、地域に顔の見える運動を進めてまいります。引き続き、ご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

会員の皆様をはじめ家族の皆様にとって、素晴らしい年になることを祈念いたします。



中国労働金庫鳥取県営業本部  
本部長 西村 裕生

あけましておめでとうございます。  
2021年の新年をご家族とともに健やかに迎えられたこととお慶び申しあげます。

日本経済は、この間緩やかな回復基調にありましたが、米中貿易摩擦を契機に後退局面に入り、加えて昨年初頭から新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、輸出の落ち込みや個人消費の抑制など景気は急激に減速し、金融環境も非常に厳しい状況になっています。

このような環境の下、中国労働金庫では4月から第7期中期経営計画がスタートします。これまで以上に労働者に寄り添い、お役立ちできる「仲間」として役職員一丸となって邁進していく所存です。

厳しい状況ではありますが、本年が皆様にとって、必ずや良い年となるよう、ともに汗をかいてまいりたいと思います。

皆様のご多幸をお祈り申しあげます。



こくみん共済coop鳥取推進本部  
本部長 松崎 浩哉

新年明けましておめでとうございます。  
皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、こくみん共済coopの運動に対しまして、特段のご理解とご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

さて、2020年は春先から中国・武漢を起源とした新型コロナウイルス感染症が蔓延し、国民生活に深刻な影響を及ぼすなか、仕事や暮らしの在り方も大きく変化してきています。後手、後手になっている政府の対応に日々イライラしながらも、ウィズコロナ・アフターコロナの生活を考えていく必要があります。

職場や家庭においては、Webを活用した会議や集会、マスクの着用、手洗い・うがいなどの習慣も定着しつつあります。

こくみん共済coopは、皆さまに寄り添い、いざというときお役に立てる存在であり続けたいと考えています。

2021年が、早期に新型コロナウイルス感染症が収束し、皆さまにとって明るく、実り多い1年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



鳥取県生活協同組合  
代表理事 理事長 井上 約

新年あけましておめでとうございます。  
皆様におかれましては、新しい年を健やかにお迎えになられたことと謹んでお慶び申し上げます。旧年中は、弊組の事業や活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

弊組は昨年「創立70周年」という大きな節目を迎え、記念式典の開催をはじめ、多くの記念事業を実施させていただきました。改めて創立以来の歴史を振り返り、今日の存在があるのは組合員をはじめ、県民の皆様の支えがあってこそであることを確認するまたとない機会となりました。

これからも暮らしやすい鳥取県となるよう、鳥取県労働者福祉協議会に結集する諸団体の皆様との連携を大切に、『笑顔と思いやりでつながり 夢があふれる くらしの協同』をテーマとした鳥取県生協「2030年ビジョン」の実現とあわせて国連が定めた「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成につながる取り組みを日々推進していきたいと考えています。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



**鳥取医療生活協同組合  
組合長理事 竹内 勤**

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、当組合の活動に格別のご理解、ご協力をいただき厚く感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延により、国民生活は大きな影響を受けました。我が国においても年末には感染の第3波が襲来し、北海道、首都圏、大阪などで重症者が増え、医療崩壊も危惧される状況でした。当組合では鳥取生協病院を中心に、地域の要請に応えて発熱者外来を実施し、患者拡大期においてコロナ患者を入院できるよう対応してきました。

このような中、コロナに負けない地域作りの視点で、感染対策を行いつつ患者・利用者さんが安心して医療・介護を受けられるよう取り組んできました。また、経営的にはコロナ禍の影響も大きく反映して厳しい状況が続いているますが、引き続き政府に社会保障の充実を求める運動をしていきたいと考えます。

皆様にとりまして、よき年になるよう祈念し、新年のご挨拶といたします。



**鳥取県労働者福祉協議会東部支部  
支部長 藤田 浩二**

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新たな年が健やかに、そして佳き一年となるよう想いを抱かれてのことだと思います。昨年は世界中が「新型コロナウイルス」の脅威に晒され、人ととのコミュニケーションのあり方に変化を強要された一年でした。これを機に「新しい形のコミュニケーション」が一気に加速し、幾多あるコミュニケーション術を使い切れていたことにも気づかされました。確かに便利・効率は人類の進歩の証でしょうが、昔ながらのコミュニケーション手段も捨て難く、そこには温度感や肌感覚のような「第六感」と、偶然をきっかけとしたチャンスとの遭遇「セレンディピティ」があり、これまでの私たちの運動を支えてきたと思います。労福協東部支部は「新しい」と「昔ながら」の両手段のハイブリッド方式により、皆様とともに運動を進めていく想いですので、本年もどうぞよろしくお願ひします。

2021年が皆様にとって、より佳き一年となりますようお祈りいたします。



**鳥取県労働者福祉協議会中部支部  
支部長 盛山 修**

新年おめでとうございます。

旧年中は、格別なご高配を賜り有り難く厚くお礼申しあげます。新年を迎える皆様とご家族のご健勝と、今年一年が明るく、素晴らしい一年になるよう心よりお祈り申し上げます。

2020年を振り返ってみると、世界的に新型コロナウイルスが猛威を振るい、日本国内においても経済や私たちの生活にも甚大な影響をもたらしました。感染拡大の中、医療従事者の方々や、感染者に対する不当な差別や偏見、誹謗中傷の報道もありましたが、思いやりの気持ちをもって接することが大切だと思います。

その一方で、日本開催で盛り上がりを見せていましたオリンピックも延期となりました。

今年もコロナウイルス感染拡大で先の見えない状況に

ありますが、労福協の活動に対して、「笑顔」で「元気」に「前向き」な気持ちをもって取り組んでいきたいと思います。

結びとなります、皆様にとって、2021年が、幸多き年となりますようご祈念申し上げ、簡単ではありますが、新年のご挨拶とさせていただきます。



**鳥取県労働者福祉協議会西部支部  
支部長 船岡 誠**

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

労福協の目指す「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」、このスローガンが示すものは「人と人とのつながり」、「絆が大切にされる、ぬくもりのある社会」、「労働を中心とした様々な社会サービスをつなぐ支援型の福祉」などを意味しています。

コロナ禍でゆとりを失い、将来を不安視する方も多いおられます。このような時だからこそ、人と人が助け合い、思いやりを大切にすることで、夢と希望のあふれる社会が実現することを願っています。

労福協西部支部としても、地域を元気に、皆さんに笑顔を届けられるよう、ろうきん・こくみん共済coopと連携しながら、福祉社会の醸成に努めて参ります。

本年も、労福協西部支部一同、明るく活気あふれる活動を開催して参りますので、ご支援をお願い申し上げますと共に、皆様のご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。



**鳥取県中小企業労働相談所「みなくる」  
管理運営マネージャー 鈴木 直子**

新年あけましておめでとうございます。旧年中は鳥取県中小企業労働相談所「みなくる」への事業に対し、ご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスへの対応で、働く環境が急激に変化した年でもありました。労働相談においても、休業手当や自宅待機に関する相談、雇止めや解雇など雇用に関する相談が多くありました。また、昨年6月にはハラスマント防止法、今年4月からは中小企業も同一労働・同一賃金への対応を求められるようになり、目まぐるしく法律や制度が変わっていきます。変化の時代への対応力が求められる昨今、みなくるに寄せられる相談においても、「柔軟に」そして「しなやかに」対応できるよう頑張ってまいります。ピンチをチャンスに変えて、今年も引き続き、働きやすい職場づくりのお手伝いや、気軽に相談できる『皆が来るみなくる』を目指して、相談員一同努めてまいります。

皆様が、心身ともに健康で活き活きと働き続けられる一年になることを祈念して、新年のご挨拶といたします。

目次	-----
新年ご挨拶	P2 - P3
ろうきん・こくみん共済coopからのお知らせ	P4 - P5
労福協中部・西部支部学習会を開催	P6
第17回西部支部労福協(社会貢献)まつりを開催	P7
福祉カンパ実施中です！	P7
第67回勤労者美術展入賞一覧	P8



あけまして  
おめでとうござります

本年もよろしくお願ひ申し上げます

令和三年 元日

はたらくあなたの、  
いちばんそばに。



こくみん共済 NEWS  
coop

# 「たすけあいの輪をむすぶ」 こくみん共済 coop は、 次のステージへ



2019年6月、全労済から「こくみん共済 coop」へ  
この1年間、「たすけあいの輪をむすぶ」を合言葉に、  
共済という「たすけあいの仕組み」を通じて、  
事故や病気、大きな災害など、組合員の「もしも」を支えてきました。  
そして、もっと多くの人と、「たすけあいの輪」をむすぶため、  
共済だけでなく、私たちにできることに取り組みます。  
豊かで安心できる社会にむけて。2年目の挑戦がはじまります。

こくみん共済	総合医療共済	せいめい共済	火災共済
自然災害共済	マイカー共済	自賠責共済	交通災害共済
団体生命共済	新セット移行共済		



「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

たすけあいの輪をむすぶ  
**こくみん共済 <全労済>**  
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

**労福協  
中部支部**

## 学習会(福祉事業団体推進・YOGAでリラ～ックス!)を開催

11月20日(金)、倉吉未来中心にて中部支部学習会を開催しました。コロナ対策で人数制限のある中、36の方にご参加いただきました。

今回のテーマは、コロナ禍で疲れることも多い中、心も体もヨガでほぐしてリラ～ックスしようということで、「YOGA(ヨガ)でリラ～ックス!」、インストラクターは「yogaチャクラ」の小谷真理子さんです。会の始めにろうきんとこくみん共済coopより、事業団体の推進強化について説明があり、その後ヨガを行いました。

参加者の皆さんからは、

- ・日々の追われっぷりを実感しました。たまにはこうして全てのストレスからとき放たれる時間を持ちたいなと思いました。
- ・凝り固まっている体と向き合う良い時間で、とっても気持ちよかったです。
- ・机上での研修も良いですが、今回のような体を使うものも大変良かったと思います。

などの声をいただきました。終わった後は、皆さんすっきりした表情でした。また、来年度も皆さんに「参加してよかったです」と思っていただける学習会を企画したいと思います。



**労福協  
西部支部**

## 「福祉事業団体運動推進」学習会を開催

労福協西部支部は11月24日、福祉事業団体の推進運動が職場に浸透するため、「福祉事業団体推進学習会」を米子市コンベンションセンターにて開催しました。当日は、講師に中国労働金庫米子支店大野健一社長、こくみん共済coop西部支所深田真市防災士を招き、組合員・会員45人の参加がありました。

冒頭、主催者を代表し、船岡労福協西部支部長が「労働者自主福祉運動は、労働組合の大きな柱のひとつである。福祉事業団体推進運動を職場に根付かせよう。引き続き、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざして活動を取り組む」との主旨のあいさつを行ないました。

続いて、労働金庫大野支店長からは、「～もう一度“ろうきん”について考えよう～」というテーマで、ろうきん設立の背景から基本姿勢、ろうきんは何をしてきたのか、今、何をしようとしているのか、ろうきんを利用することで何がいいのかをわかりやすく講義がありました。

また、こくみん共済coop深田防災士からは、「地震被害と保障による備え方を知ろう」というテーマにより、鳥取県西部地震を振り返って、当時の被害状況等について説明がありました。今までの共済金支払い件数の多くが「自然災害」によるものであり、「もしも」の備えとして「自然災害共済」の必要性について詳しく説明がありました。

福祉事業団体は、勤労者が必要に迫られて作った福祉事業団体であり、今後も維持・発展させて行くのかが大きな課題です。そのためにも労働金庫およびこくみん共済coopが発足した歴史を学び、原点に返る必要があるとのまとめを行い、閉会としました。



**労福協  
西部支部**

## 第17回労福協(社会貢献)まつり開催!

労福協西部支部は、11月28日（土）「第17回労福協まつり」を米子産業体育館「サブアリーナ」で開催しました。

今年はコロナ禍の中での開催ですので、従来の「イベント型」ではなく、「福祉型」のまつりにするために、名称も「第17回労福協（社会貢献）まつり」に変更しました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴って、全国的に血液が不足していますので、「献血」を柱に「車いす体験コーナー」「アイマスク体験コーナー」そして「フードドライブ」、献血に親子で来られた方に「アニメ広場」を設置しました。当日は幹事会が中心となり運営をおこない、構成組織から53人の方に献血にご協力いただきました。また、フードドライブもたくさんの人々を集めることができました。

来年は、新型コロナも終息し、通常の「労福協まつり」ができることを願うばかりです。

引き続き、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざして活動を取り組むこととします。



## 福祉カンパへのご協力をお願い致します！

将来を担う子どもたちが健康で豊かな生活を送るために福祉カンパ（募金）活動を実施しています！

（実施期間：2020年12月1日～2021年1月31日）

集まったカンパ金で.....

- ☆ 子どもたちが安心して過ごす「子ども食堂」への支援
  - ☆ 子どもにかかる福祉施設等への支援
  - ☆ 小規模作業所等への支援
  - ☆ 交通事故・災害等から子どもを守る活動への支援
- .....を行っています。..

街頭や職場で多くの皆様よりあたたかいご協力を頂いております。  
心より御礼申しあげます。



今年度(2020年12月)  
街頭カンパ活動の様子(西部)



# 第67回鳥取県勤労者美術展

会期 2020年12月13日(日)～20日(日)／倉吉博物館

## 鳥取県知事賞

## 写真部門



「窓辺の光景」

太田 忍 様

(鳥取市)

## 洋画部門



「木谷沢」

草野 妙子 様

(鳥取市)

## 日本画部門



「晩秋の荒野」

増田 富子 様

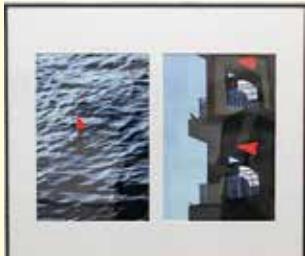
(米子市)

## 書道部門

岡垣  
おかがき華雲  
かうん「鷗鷺詩」  
れいがくし様(八頭町)  
よう(やつめん)

## 鳥取県労働者福祉協議会理事長賞

## 写真部門

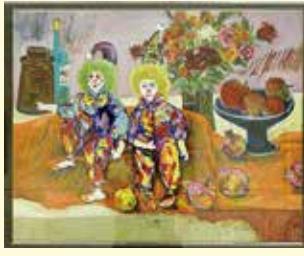


「赤の印象」

八原 昭晃 様

(米子市)

## 洋画部門



「ピエロのいる卓上静物」

足立 真由美 様

(鳥取市)

## 日本画部門

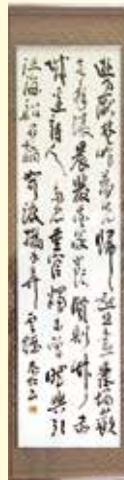


「梅雨の朝Ⅱ」

小林 一行 様

(智頭町)

## 書道部門

福本  
ふくもと恭虹  
きょうこう「ゆうぼう」  
ゆうぼう様(三朝町)  
よう(みさちまち)

## 各後援団体賞

賞	部門	作品名	氏名又は雅号	市町村	賞	部門	作品名	氏名又は雅号	市町村
鳥取県経営者 協会会长賞	写真	コロナを吹っ飛ばせ	瀬田 和男 様	鳥取市	中国労働金庫 鳥取県営業本部 本部長賞	写真	帰り道	竹歳 雅秀 様	北栄町
	写真	梅林寸景	根鈴 裕之 様	北栄町		写真	寸劇	阿部 穎男 様	境港市
	洋画	桜満開 仁風閣	菅原 理絵 様	鳥取市		洋画	麗人	玉島みどり 様	鳥取市
	日本画	砂丘	房安 栄子 様	鳥取市		書道	翁方綱詩	西垣 康雲 様	鳥取市
鳥取県商工会議所 連合会賞	写真	午後の陽射し	山根 修一 様	岩美町	こくみん共済 coop 鳥取推進本部 本部長賞	写真	凛	山中 泰偉 様	倉吉市
	写真	休息タイム	生田 利秋 様	米子市		写真	啓示	澤下 由里 様	南部町
	洋画	キッチン	濱崎 友香 様	鳥取市		洋画	ONE TEAM	HARU 様	鳥取市
	書道	あの声で蜥蜴食うか時鳥	米原 寿亭 様	倉吉市		日本画	橋杭岩	横浜 泉恵 様	北栄町
鳥取県商工会 連合会会长賞	写真	渚のart	田中 敏一 様	鳥取市	連合鳥取会長賞	写真	里の秋	加川清三郎 様	伯耆町
	写真	浜辺のファッショショ	倉繁 重明 様	倉吉市		洋画	米川土手のつつじ	奥田 直樹 様	米子市
	日本画	春の訪れ	門脇 圭子 様	鳥取市		日本画	暁	賀川 英広 様	八頭町
	書道	甘穂の詩	前田 增美 様	鳥取市		書道	徳不孤必有隣	那和 宣子 様	鳥取市
鳥取県中小企業 団体中央会賞	写真	そよ風に揺れて	森 敬一 様	湯梨浜町					
	写真	光影の行方	山本 静恵 様	南部町					
	洋画	微笑	岸田 尚 様	八頭町					
	日本画	香気、漂う	栗原 誠子 様	倉吉市					

発行責任者 本川博孝  
編集責任者 安部泰夫  
編集委員 中島一彦・澤北和彦・山根美奈・谷口美紀  
発行日 二〇二一年一月 発行 鳥取市天神町三〇番地五 (一財)鳥取県労働者福祉協議会 第309号

TEL(0857)271-4188

鳥取県労福協HPへ  
(スマホ対応)